

## 川崎地区学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回川崎地区学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年5月30日(金)午後2時55分から4時10分まで
- 3 開催場所 川崎小学校会議室
- 4 出席者  
委員 三浦 忠二委員(会長)、門田 恒治委員、内田 正好委員、岩渕 正晴委員、  
小野寺 順子委員、吉田 富美恵委員、千葉 敏恵委員、小野 幹雄委員(副会長)、  
千田 浩一委員、岩渕 道明委員、小野 峻裕委員、三浦 啓委員、  
山戸 貴義川崎小校長、齋藤 真川崎中校長 名簿順
- 5 会長副会長の選出  
会長：三浦 忠二 様  
副会長：小野 幹雄 様
- 6 議題  
(1) 川崎地区学校運営支援協議会年間計画について  
(2) 令和7年度学校経営の基本方針について  
(3) その他
- 7 公開、非公開の別 公開
- 8 傍聴人 0人
- 9 議事内容  
(1) 川崎地区学校運営支援協議会年間計画について  
質問、意見等なし。全会一致で承認。  
(2) 令和7年度学校経営の基本方針について  
① 川崎小学校  
川崎小学校校長より  
② 川崎中学校  
川崎中学校校長より  
・委員 質問、意見等なし。  
・全会一致で承認。  
(3) その他  
① 学校ボランティアの取り組みについて  
・事務局佐藤・高木：小中のこれまでの活動の中で、たくさんの地域の方々にボランティアとしてお世話になってきた。小学校は支援していただきながら学習を深めること、中学校はお世話になったことを地域に恩返しする力を育てることを基盤として推進している。活動をより充実させるためにも、川崎町にも地域コーディネーターを配置したいと考えている。

・千田委員：地域コーディネーターは地域と学校を結ぶ方。市の事業として進めている。予算も組まれているが、基本的にはボランティア。かなり前から事業としてはやっている。令和5年には川崎にも配置しようと健闘したが、配置までには至らなかった。今年度中に進めていきたいので、人選のご協力をお願いしたい。

・千葉委員：20年前くらいになるが、各家々を回って人材バンク的なものを作成した。小中学校と市民センターに名簿を送っている。学校としては、どのような役割を担ってほしいのか。

・小野（峻）委員：現在のボランティアも該当になるのか。

・事務局佐藤：なる。

・吉田委員：早めに行事予定が分かれば見繕って声をかけることができる。登録しているのに需要がないとなるとボランティアの意思が薄れてしまう。活動に即した方を発掘するほうがいい。

・三浦会長：読書ボランティアなどすでに協力してくれている人もいると思うが、他のことでも手伝える人がいるかどうかを確認できる人が必要なのですね。

・内田委員：コロナ禍の前は昔の遊びを継承しましょうということで、祖父母や地域の人、小学生でやった。すごくよかった。復活させたいものだ。

・事務局佐藤：教育課程に合わせてお手伝いの方を探している。

・三浦会長：千田課長に音頭を取っていただき人選を進めていただきたい。

## ② その他

・門田委員：地域を大切にさせていただいて、改めて地域で子供を育てる気持ちを強くした。ところで、自分の肩書だが、行政区長ではなく川崎町自治会連絡協議会会長として呼んでいただいているので、名簿にもそのように記載していただきたい。

・事務局佐藤：お詫びして訂正する。

・吉田委員：4月から集団登校の見守りをしているが、小学生の集団登校の中を自転車で走っている中学生がいる。毎度注意しても直さない。すれ違うのが危ない。分かっているも下りない。集団登校の意味についてどうしてまとまって早くいかなければいけないのか、交通ルールの意味がわかっていないから指導してほしい。併せて、中学生が子ども食堂のボランティアに来てくれたのは良いが、片付け時間にスマホを触っていたので注意した。片付けまでがボランティアだよと指導してほしい。

・内田委員：今日の授業の感想を話したい。小規模校の良さが生かされていて、メリットをすごく感じた。一人一人にはいき届かなかった時代。先生方の板書もきれいで、分かりやすく、きちんとしていてすごくよかった。中学校の運動会もすごくよかった。

・三浦会長：学校運営協議会の本来の姿が岩手日報に載っているので、是非勉強してほしい。

## 10 連絡

・次回開催について

・委任状の提出について

## 11 担当

・川崎地区学校運営支援協議会事務局 一関市立川崎小学校副校長 佐藤伸子